

再編成後の年間指導計画例（第3学年）

	「学習の主題」	学習指導要領の内容			中心教材等	時数	感染拡大防止への配慮等
		ア (思考・判断・表現)	イ (知識)	ウ (技能)			
6	曲や演奏のよさに気付いて聴こう	B(1)	○	○		2	再開後すぐは鑑賞領域から開始。
	発想を生かして即興的に表現しよう	A(1)	○	○	○(7)(f)	1	実施時期を移動している。声を出す向きや距離に配慮する。
7	自然で無理のない歌い方で歌おう	A(1)	○	○	○(7)(f)	2	共通教材「茶つみ」「春の小川」を「この山光る」と合わせて参考教材として扱う。ラベンダー本p26の例示活動で教材を柔軟に扱う。
	音色や響きに気を付けて演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)	3	時期を移動。リコーダーは感染症予防の指導（強く息を吹き込まない。演奏以外は喋らないなど）を徹底することをしたい。この時期に難しいようであれば例えば後期からリコーダーの活動を集中して行うなど楽器の扱いについてはしっかりと徹底できるように配慮する。
	曲や演奏のよさに気付いて聴こう	B(1)	○	○		2	ユモレスク
89	互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)	2	使用する楽器に配慮する。共用楽器は消毒を計画的に行う運用の工夫が必要。
	郷土や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう		○	○	○	2	◆うさぎ
	曲や演奏のよさに気付いて聴こう	B(1)	○	○		2	白鳥
	曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌おう	A(1)	○	○	○(7)(f)(g)	2	◆ふじ山 ラベンダー本p32,33では3h扱いになっているがここでは2h扱いにしている。工夫することに重点をおいて工夫した表現は教師が歌うなど活動を焦点化する。
10	郷土や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう		○	○	○	2	日本や世界の子どもの歌 陽気ななじや 十五夜さんのもちつき
	曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌おう	A(1)	○	○	○(7)(f)(g)	2	森の子もり歌 まほうのチャチャチャ
	曲の特徴を捉えた表現を工夫して演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)(g)	1	まほうのチャチャチャ 使用する楽器に配慮する。共用楽器は消毒を計画的に行う運用の工夫が必要。
11	曲の特徴を捉えた表現を工夫して演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)(g)	4	せいじゃの行進 使用する楽器に配慮する。共用楽器は消毒を計画的に行う運用の工夫が必要。
	互いの歌声を聴き、声を合わせて歌おう	A(1)	○	○	○(7)(f)	2	雪のおどり
	発想を生かして即興的に表現しよう	A(1)	○	○	○(7)(f)	1	レミファソラの音でせんりつづくり（雪のおどり）
12	音色や響きに気を付けて演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)	2	冬さん、さよなら 使用する楽器に配慮する。共用楽器は消毒を計画的に行う運用の工夫が必要。
	曲や演奏のよさに気付いて聴こう	B(1)	○	○		2	組曲「アルルの女」から 「メヌエット」「ファンドル」
1	互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)	4	パフ 使用する楽器に配慮する。共用楽器は消毒を計画的に行う運用の工夫が必要。
2	思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろう	A(3)	○(f)	○(f)	○(f)	2	音のひびきや組み合わせを楽しもう
	曲や演奏のよさに気付いて聴こう	B(1)	○	○		2	ピーターとおおかみ
3	互いの歌声を聴き、声を合わせて歌おう	A(1)	○	○	○(7)(f)	3	音楽のおくりもの、校歌、市歌、君が代 教材を追加しているので3h扱いの中で適宜扱うようにする。
	互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏しよう	A(2)	○	○(7)(f)	○(7)(f)	3	ミッキーマウスマーチ